



センターWebページへ

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果

#### ハイライト:

今年度もたくさんの講座を実施しておりますが、本号では、「今年度の注目講座!」「講座紹介・受講者の声」を紹介しています。まだ追加申込み可能な講座もありますので、多くの方の申込みをお待ちしております。

#### 目次:

研修講座の状況	2
今年度の注目講座!	2
講座紹介・受講者の声	3
センター研究成果	4
カリキュラムセンター紹介	4

# 青森県総合学校教育センター

## センターだより

### 巻頭言 「今、学校に求められるコンプライアンス」

#### 【学校におけるコンプライアンスとは】

青森県教育委員会では、「教育は人づくりという視点に立って、学校運営に創意をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める」を学校教育指導の方針としています。言うまでもなく、学校教育推進の土台となるのは、保護者や地域社会からの期待と信頼です。学校におけるコンプライアンスとは、学校と教職員の社会的責任であり、学校または教職員が、保護者や地域社会から学校に寄せられる期待や信頼に応えるということです。

今、私たち教職員には、学校教育が及ぼす社会的責任の認識、保護者及び地域社会から信頼される組織としての法律や規制の遵守はもとより、教育活動の透明性、倫理、環境問題等へのより質の高い具体的な対応が求められています。

#### 【対応が求められる項目とは】

具体的な対応が求められる項目は次のとおりです。

〔教職員がコンプライアンスの観点から判断すべき項目〕

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ◇ 業務に対する姿勢        | ◇ 人権の尊重               |
| ◇ 体罰の禁止           | ◇ わいせつ、セクハラ、パワハラ行為の禁止 |
| ◇ 説明責任（アカウンタビリティ） | ◇ 贈収賄や業務上横領の防止        |
| ◇ 利害関係者との関係       | ◇ 交通法規の遵守             |
| ◇ クレーム等への対応       | ◇ 知的財産権への対応           |
| ◇ 個人情報の保護         | ◇ 情報セキュリティ対策          |
| ◇ 環境への配慮          | ◇ 社会貢献活動の展開 等         |

これらの項目の中では、特に、説明責任（アカウンタビリティ）が近年注目され、学校としても重点項目として具体的に取り組みられています。管理職においては、自らの行動をもって範を示すとともに、組織としてコンプライアンス意識の醸成に計画的に努めなければなりません。教職員のコンプライアンス研修においては、「教職員の非違行為根絶のために一研修用資料」が青森県教育委員会よりWeb公開されていますので活用できます。

#### 【具体的な対応とは】

保護者や地域社会からの期待に応えるためには、日常の業務を遂行する過程で求められる行動規範を改めて確認するとともに、私たちの行動のよりどころとなるものを具体的かつ明確にする必要があります。具体的な対応として、例えば、上記項目における行動指針・自主行動基準の確認、コンプライアンスの推進、コンプライアンス・マニュアルの作成、コンプライアンス委員会の設置、コンプライアンス相談・通報窓口の設置等が考えられます。教職員全体に求められる対応として、日常業務における組織的対応の徹底、学年、教科や校務分掌等をこえた協力体制の整備、教職員間のコミュニケーションの促進などが挙げられます。

教職員が遵守すべき倫理原則をまとめると、社会的な法規範をはじめ、教育・研究活動に関する法令を順守するとともに、社会人としての倫理や良識をもって公平・公正に職務を行い、社会からの信頼に応えるということに尽きるのではないかと思います。

#### 【特別セミナーのご案内】

当センターでは、東京女学館大学准教授 黒川雅子氏をお招きし「特別セミナー 今求められるスクールコンプライアンス～信頼される学校・教員として～」を12月16日（金）13:00～16:00に開催いたします。事例研究「問題発生時に求められる学校の姿」も取り入れ、より分かりやすいセミナーを目指しました。多数の御応募（申込締切11/17）をお待ちしています。

参考：「岩手県教職員 コンプライアンス・マニュアル」岩手県教育委員会  
「コンプライアンスハンドブック」徳島県教育委員会



青森県総合学校教育センター  
義務教育課長 田村 義文

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果

【今年度の注目講座と  
講座紹介について】  
センターの研修を身近に  
感じてもらい、受講の参考  
としてもらうために、実際  
の講座の様子を講座担当者  
が紹介します。

## 平成23年度 研修講座の状況

### 【平成23年度研修講座】

当センターでは、青森県教職員研修体系に基づき、教職員の専門性を高め、教育活動の充実に資する各種の研修を行っています。研修は、「基本研修（初任者研修・新規採用者研修・経験者研修）」「職務研修」「専門研修（教科研修・教科外研修）」「特別研修」と体系化して構築し、今年度の全講座数は198となっております。

研修講座の編成に当たっては、

- ・「言語活動の充実」に関する内容
- ・「個に応じた指導」、「特別な支援を必要とする幼児児童生徒の教育」についての内容
- ・「指導と評価の一体化」についての内容
- ・「教育の情報化」に対応した内容
- ・「校種間の連携・接続」に関する内容

を取り入れること、また、演習・協議などの活動を積極的に取り入れることを重点とし、講座内容の評価・見直しを図り、受講者のニーズとライフステージに合わせた研修講座を目指しています。

### 【追加申込みについて】

「職務研修」「専門研修（教科研修・教科外研修）」において、講座開始日の1か月前まで、追加申込みを受け付けています。希望する講座があれば、講座担当者まで、まずは電話連絡をお願いします。なお、追加申込みを受け付けている講座は、当センターのWebページの「追加申込み可能な講座」に掲載してあります。

【平成23年度研修講座申込状況】(延べ数)

研修体系	講座数	申込者数
<b>基本研修</b>	<b>62</b>	<b>2546</b>
初任者研修	34	1564
新規採用者研修	11	89
教職経験5年研修	8	226
10年経験者研修	9	667
<b>職務研修</b>	<b>17</b>	<b>673</b>
<b>専門研修</b>	<b>112</b>	<b>2246</b>
教科研修	57	761
教科外研修	55	1485
<b>特別研修</b>	<b>7</b>	<b>114</b>
<b>合計</b>	<b>198</b>	<b>5579</b>

(7/1現在)

## 今年度の注目講座！

### 「講座番号242 算数的活動の楽しさを実感する小学校算数科教材活用講座」

10/25～10/26開催

国際調査等によると、日本の算数・数学の成績は上位（4位・5位）を占めているが、「算数・数学の楽しさ」「算数・数学の勉強に対する自信」についての割合が非常に低いことが指摘されています。本講座では、児童が算数を学ぶことの意義や楽しさを実感し、目的意識をもって主体的に算数に取り組むための教材活用の在り方について研修します。

1日目は算数的活動の楽しさを実感する授業づくりのための講義・演習や実践発表を通して、そのポイントについて学びます。2日目は弘前大学教育学部教授の中野博之氏から、算数的活動を取り入れた教材の活用の基本について講義していただきます。午後は算数科におけるコンピュータ活用の実践例や教材ソフトの体験を通して、授業でのコンピュータの効果的な活用についての研修を行います。

2日間の講義と演習を通して、担当教員の指導力の向上を図ることに重点を置いています。まだ、定員に余裕がありますので、追加申込みも可能です。是非、受講してみてください。

### 「講座番号808 授業に活用！拡大表示のためのICT機器活用講座」

10/19～10/20開催

学習指導要領の改訂により、情報教育や教科指導における教員のICT活用、児童生徒によるICTの活用など、教育の情報化に関わる内容について一層の充実が図られました。

本講座では、教員がICTを授業で活用する実践力を身に付けるために、「拡大表示」を中心として、機器の準備から提示するまでの基本的な操作を学びます。

「目線をあげて大きな資料で見せる授業をするための体験型研修」として、プロジェクタ、電子黒板、デジタルカメラといったICT機器の準備から提示するまでの演習を通して、「見せる授業」を展開するために必要な素材の作成を行います。

「講座番号 1 1 2 研修主任研修講座」5/30～5/31開催

本講座は、各学校の校内研修の充実のために、研修主任の役割及び校内研修の進め方についての研修を行い、研修主任及び研修担当教員の職務遂行能力の向上を図ることを目的としています。

今年度は、さまざまなリーダーの機能の中でも特に「ファシリテーション」に注目し、講義においてそれを研修計画や校内研究の推進に生かす方法を提案しました。また、その内容を体感してもらうために、協議や演習において「ファシリテーション」の機能を生かしたワークショップを行い、講義内容をより具体的に理解してもらえよう工夫しました。また、小学校、中学校及び特別支援学校における校内研修の進め方の発表は、校内研修を活性化するための具体的な工夫が盛り込まれ、大変充実した内容でした。

なお、この講座で行ったワークショップを各学校でも同じように実践できるように、授業情報システムにワークシートを登録しています。ぜひ御活用ください。

◆受講者の声

- ・ファシリテーションの考え方が大変参考になった。ファシリテーターとして求められるスキル（場のデザイン・対人関係・構造化・合意形成）をしっかり身に付けていきたい。
- ・講義で説明された手法を協議や演習で実際に体感することができ、より理解が深められた。
- ・学校規模で班分けされていたので、普段感じている悩みを共有することができた。
- ・研究主題や手だてがあいまいなまま研究を進めていくことの問題点や、ワークショップ型で主題を具体化し共通理解を図る方法など、実際に演習することで分かったことが多かった。
- ・他校種や規模の違う学校の多岐にわたる実践を聞いたことは大変勉強になった。

「講座番号 1 1 3 学年主任研修講座」5/25～5/26開催

この講座は、学年主任の職務や学年経営に係わる講義・演習、さらには実践発表や協議を通して、学年主任としての職務遂行能力の向上を図ることを目的としています。

1日目の午前中は、当センター田村義務教育課長から学年主任の職務の実際と心構えについて、経験談を交えた講義が行われました。午後は、校種毎の実践発表（弘前市立城西小学校 田中玲子先生 つがる市立車力中学校 対馬緑先生 弘前高等学校 中道哲先生）と学年経営の課題についての協議を行い、対応策や情報の共有を図りました。

2日目は、(資) マネジメント・ブレイン・アソシエイツのシニアコーチ・心理カウンセラー井上郁夫氏を招へいし、「学年主任としてのコーチングスキル」と題して、講義と演習が行われました。学年スタッフへのコーチング技法のほか、保護者対応・児童生徒への働きかけなど、内容が具体的で、かつ実践的であったと受講者からたいへん好評でした。

◆受講者の声

- ・今まで、漠然として分からなかった学年主任としての職務について学ぶことができ、大変感謝しております。特にきめ細かいたくさんの資料は、とても参考になり、これからいつでも見れるように手元に置いておきたいと思えます。
- ・実践発表を聞き、日頃自分が悩んでいた事に対する解決の糸口を見出すことができ、指導主事の助言で自分も自信をもって実践しようと思えることができました。大変有意義な協議でした。実践発表した先生に協議に加わっていただいたことも良かったです。
- ・他校で実践している問題行動への対応や集会のもち方について知ることができ、とても勉強になった。お互いに活発な意見交換ができたことで、有意義な協議となった。

また、当センターWebページでは、今年度実施した講座の様子を随時紹介しています。そちらも是非ご覧ください。

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果



講座番号 1 1 2 ワークショップの様子



講座番号 1 1 3 井上郁夫氏による演習の様子

平成23年度のセンター研究の中から、学校教育で参考となる主な研究について、それぞれ研究の主題及び要旨を紹介します。

### ◆産業教育課

<主題>

「効果的な教科指導のためのICT環境に関する研究」

<要旨>

電子黒板やネットワークを利用した効果的な学習展開に加え、ICTを活用した共同作業を取り入れた学習指導を「みせる」ことと「つかう」ことに整理した研究である。「みせる」では電子黒板を取上げ、学習素材や授業での効果的な活用方法について、「つかう」では情報共有ツールを導入し、多数の意見を同時に集約して課題を解決することができるICT環境を研究した。本研究では、ICT活用のキーワードの「みせる」が視覚化、「つかう」が協働化として、教科指導における情報共有の効率化や言語活動の充実につながった実践事例を紹介している。

### ◆高校教育課

<主題>

高等学校における思考力・判断力・表現力を伸ばす指導法に関する研究

－教師力の向上をめざして－

<要旨>

本研究は、県内の県立高等学校教員に対するアンケート調査から思考力・判断力・表現力を伸ばすためにどのような実践が行われているか、またどのような課題を抱えているかを分析した上で、生徒が活動する場面に授業の中に積極的に導入することが思考力・判断力・表現力を伸ばすことにつながるという認識に基づいて効果的な指導法を提案し、研究協力校において公民・地学・保健体育・音楽・英語の検証授業を実施した結果を考察したものである。

## <Hot News!!>

◆平成23年度第27回学習デジタル教材コンクールにおいて、当センター産業教育課の須藤貴則指導主事と、義務教育課の前田篤志指導主事が共同開発した「動画で学ぶ実技教材」が、優良賞を受賞しました！このコンクールは、公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センターが主催し、デジタル機器の活用と教育の情報化の進展に貢献することを目的として、毎年開催しているものです。（文部科学省、協賛に(財)日本児童教育振興財団、日本教育新聞社、東京書籍（株）、マイクロソフト（株）後援）

早速、当センターのWebページ（「ストリーミング動画配信」の中の「動画で学ぶ実技教材」）でもご覧いただけるようにしております。既にいくつかの学校から、問い合わせがごさいますが、是非、みなさんもご覧になってはいかがでしょうか。

－須藤指導主事のコメント－

当センターに赴任してから、FLASHを活用したストリーミング配信の可能性について研究を進めて参りました。これまではライブ・オンデマンドストリーミング配信で現場の先生方の研修を支援して参りましたが、教科指導にストリーミング配信の技術を応用することはできないものかと考え、開発に取り組みました。現在は「のこぎりの使い方」のコンテンツですが、今後も他教科の先生方と連携し、様々な実技教材を作成していきたいと考えております。

## カリキュラムセンター紹介

今年度から、センター2階「図書資料室・ライブラリー」の名称を「カリキュラムセンター・図書資料室」に変更し、学校の教育活動を支援するために新たに2つの事業を始めました。

一つは、「学校等支援講師派遣事業」です。この事業は、学校の校内研修や教育機関などが主催する教員・保護者等を対象とする研修会に、指導主事を講師として派遣する事業です。

二つ目は「教科指導等の相談窓口事業」です。この事業は県内の教職員からの教科指導等の疑問・質問に対して、速やかで的確な情報提供などを通じ、教職員の教育活動を支援する事業です。

これらの事業の詳細については、当センターWebページ、カリキュラムセンターの項目をクリックしてご覧ください。

またカリキュラムセンター・図書資料室では、情報をより検索しやすくし、サービスを向上させるため、昨年度より図書管理システム「りいぶる」を導入しております。図書の貸出には利用者カードが必要となりますので、来室の際にライブラリ担当までお申し出ください。当センターWebページカリキュラムセンター「図書資料室の案内(PDF)」－「県内教職員利用者カード発行申込書」に事前に記入してお持ちいただくことも可能です。

今年度第1次購入分の新着図書情報は準備ができ次第、センターWebページ「お知らせ」に掲載します。

トップ

研修講座の状況

講座紹介・受講者の声

センター研究成果



「カリキュラムセンター・図書資料室」